

## 平成 28 年度「希望（のぞみ）」第 6 学年単元における評価の実際

### 実践の特徴

本単元、「奏でよう自分物語～京都旅情編～」は、3つの資質・能力の中の「課題対応能力」育成に焦点化して取り組んだ単元である。育成の手立てとして①資質・能力に関するルーブリックを作成し1時間の授業の中で引き出し価値つけていく姿を明確にして授業を設計し、②教師と子どもで考えた「なりたい自分」を評価の指標とした自己評価活動を毎時間授業後に行い、③自分と集団を見つめる時間として「修学旅行の学びをもとに、よりよい集団を作っていくために自分ができることを考える」授業を設定した。これらの手立てによって、「課題対応能力」及び「参画」の意識が高まったことが、本実践の特徴である。



図1 修学旅行の様子

### 1 単元指導計画

|      |  |    |       |          |
|------|--|----|-------|----------|
| 学年   | 第6学年   | 時期 | 4月～5月 | (10時間扱い) |
| 単元名  | 「奏でよう！自分物語」～京都旅情編～   |    |       |          |
| 単元目標 | 京都への旅に向けての計画、実践、振り返りの活動を通して、目標に向けてすべきことの計画を立て、実際に取り組む中で、その時その時の状況を見て、仲間の考えを受け止めたり、建設的に考えをまとめたりして修正をしながら、最後まで自ら動くことができる。<br>京都への旅の意義を考える活動を通して、まわりと自分との新たなつながりを発見し、これからの自分の在り方について、京都に行く前の自分よりも深く考えることができる。 |    |       |          |

#### (1) 評価規準

| 育成する能力  | 人間関係形成・社会形成能力  | キャリアプランニング能力   | 課題対応能力  |
|---------|--|--|---|
| 単元の評価規準 | 京都への旅に向けての計画、実践、振り返りの活動を通して、その時その時の状況を見て、仲間の考えを受け止めたり、建設的に考えをまとめたりするようになる。 | 京都への旅の意義を考える活動を通して、まわりと自分との新たなつながりを発見し、これからの自分の在り方について、京都に行く前の自分よりも深く考えるようになる。 | 京都への旅に向けての計画、実践、振り返りの活動を通して、目標に向けてすべきことの計画を立て、実際に取り組む中で修正をしながら、最後まで自ら動くようになる。 |

#### (2) 単元の計画

- 第1次 「なりたい自分」について・・・2時間
- 第2次 修学旅行の計画を立てる・・・7時間
- 第3次 「なりたい自分」について・・・1時間



図2 話し合い活動

### 2 実践における評価活動の特徴

#### (1) 主体的に自己を変容させることにつながる評価方法

今回、資質・能力に対する意識を高め行動化へとつながるように、子どものパフォーマンスを一枚のポートフォリオに記入していく OPPA (ワンペーパーポートフォリオアセスメント) の手法を取り入れた。本単元は、「課題対応能力」育成に焦点化して取り組みを進めたため、「課題対応能力」に関する「なりたい自分＝目標」を、キーワードをもとに子どもと一緒に考え、それを子どもが評価の指標 (B 基準) として毎時間自己評価活動に取り組んだ。教師は、OPP (ワンペーパーポートフォリオ) の評価、フィードバック及び指導改善のため、単元全体を通した「課題対応能力」に関するルーブリック (3段階) を作成して取り組んだ。

#### (2) パフォーマンス課題とルーブリック評価 (課題対応能力を中心に)

| 「課題対応能力」   | A基準   | B基準   | C基準  |
|--|---|---|--|
| 単元全体のルーブリック  | 修学旅行の目標に向けて、全体の活動や班別学習の計画を立て、実際に取り組む中で修正しながら、最後まで自分から行動することができる。  | 修学旅行の目標に向けて、全体の活動や班別学習の計画を立て、実際に取り組む中で修正することができる。 | 修学旅行の目標に向けて、全体の活動や班別学習の計画を立てることができない。実際に取り組む中で修正することに目が向かない。 |
| 子どものキーワード  | 目標 計画 修正 最後まで 挑戦  |   |  |
| パフォーマンス課題 (本単元では、毎時間、「課題対応能力」に関するパフォーマンスを引き出すための課題を設定した。①～⑩は時間目) | ①②：課題対応能力について、7年生の姿を知り、学年のキーワードを使いながら「自分たちのなるべき姿」をまとめる。<br>③④：目的を達成するための班別自主研修の計画を立てる。<br>⑤～⑦：目的を達成するための班別自主研修の計画を修正する。<br>⑧⑨：目的を達成するための各担当の計画を立てたり、内容を考えたりする。<br>⑩：実際の活動の中で修正点を見つけ、計画を見直す。 |   |  |

